

## ごちゃまぜの会を活用した地域資源の見える化・ネットワーク化と 互助・共助の協働に向けた取組

### （内容）

1. 自己紹介（現在の主な業務等）
2. 小職の問題意識と本日のテーマについて
3. 地域資源の見える化・ネットワーク化に向けた取組
4. 医療・介護と福祉の連携に向けて

# 1. 自己紹介

(職歴及び現在の主な業務について)

# 職歴及び現在の主な業務について（地域包括ケア／地域づくり関連）

## 主な職歴

- 1987.4～ 民間企業勤務（川崎製鉄、帝人、経営総合研究所から東京海上火災保険株式会社に出向）
- 1997.12～ 日本医師会総合政策研究機構（最終：主席研究員）
- 2005.11～ 国立社会保障・人口問題研究所（最終：社会保障基礎理論研究部 部長）
- 2017.4～ 埼玉県立大学大学院／研究開発センター 教授
- 2024.4～ (株)日本医療総合研究所 地域づくり推進部 部長／認知症介護研究・研修東京センター 研究員

## 厚労省関連(R6年度)

市町村・医師会・コーディネーターの協働の推進

- 【厚労省】社会保障審議会介護給付費分科会専門委員／介護報酬改定検証・研究委員会委員
- 【老健局】在宅医療・介護連携推進支援事業検討委員会\_連携支援・研修WG\_委員長
- 【老健事業】在宅医療・介護連携推進事業のコーディネーター支援及びスキルアップに関する調査研究事業 委員長
- 【老健局】地域づくり加速化事業\_伴走的支援アドバイザー
- 【老健事業】「効果的な施策を展開するための考え方の点検ツール」の都道府県による市町村支援への活用に関する調査研究検討委員会\_委員長

## 自治体等への主な支援

- 島根県：島根県老人福祉計画・介護保険事業支援計画策定委員会\_委員長（現在）
- 北本市：第9期介護保険事業計画策定業務(一般公募で受託)（R4-5年度）
- 川越市：介護保険事業計画等審議会\_委員（現在）
- 国立市：国立市地域医療計画推進会議\_副委員長（現在）
- 北本市社協：地域福祉事業に関するアドバイザー（現在）

本日の講演内容に関すること

## 地域課題・資源の見える化／ネットワーク化／課題解決の推進

- 大学在籍時：地域包括ケア推進セミナーの定期開催（月1回、毎回2名の講演＋意見交換会、合計2時間）
- 北本市ほか：地域共生社会の実現を目指した「ごちゃまぜの会」の企画・運営支援 ほか

## 2. 小職の問題意識と本日のテーマについて

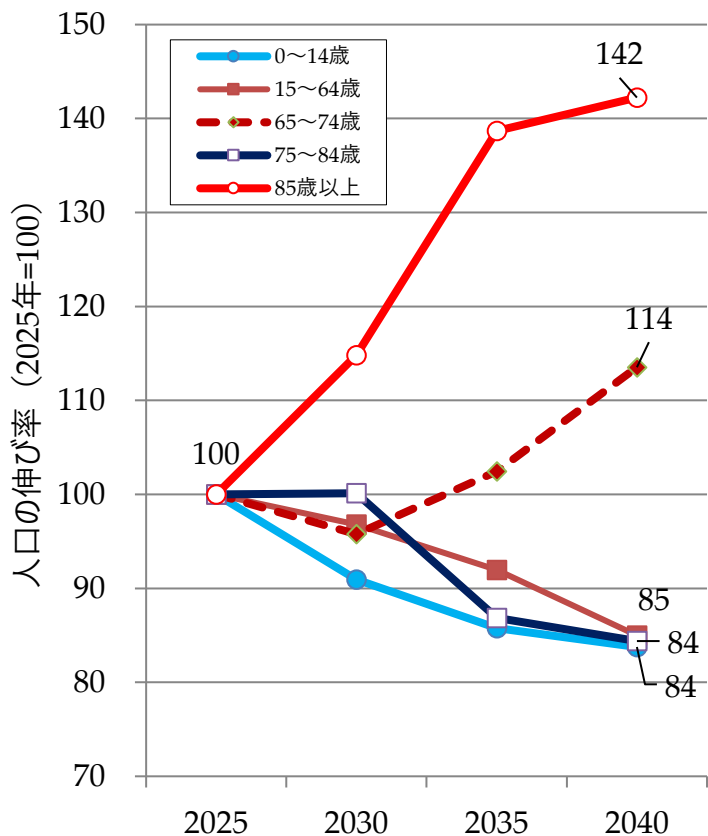
# 人口構造の変化に伴うニーズの変化

⇒「共助」と「互助」の融合による地域ごとの包括ケアシステムの構築が必要に

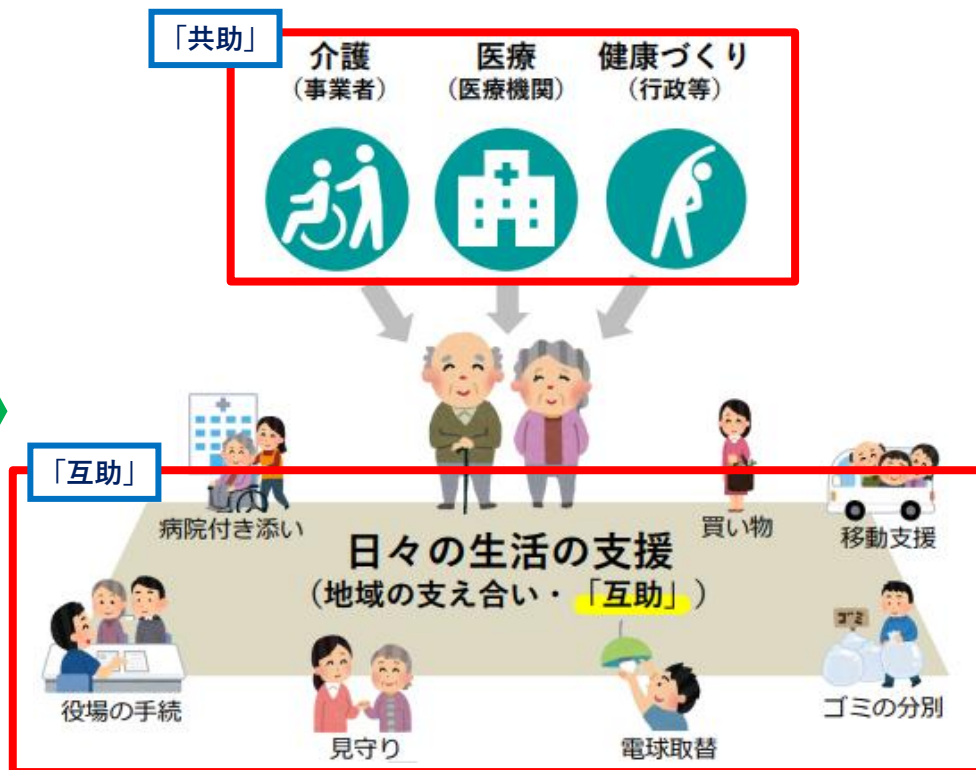
## ポイント

- 2040年にかけて、85歳以上人口が急増する。
- 85歳以上高齢者は、医療・介護・生活支援に対するニーズが高い。そこで、これらサービスや支援が包括的に提供される仕組み（＝地域包括ケアシステム）の構築が現在進められている。

## 人口構造の変化（全国）

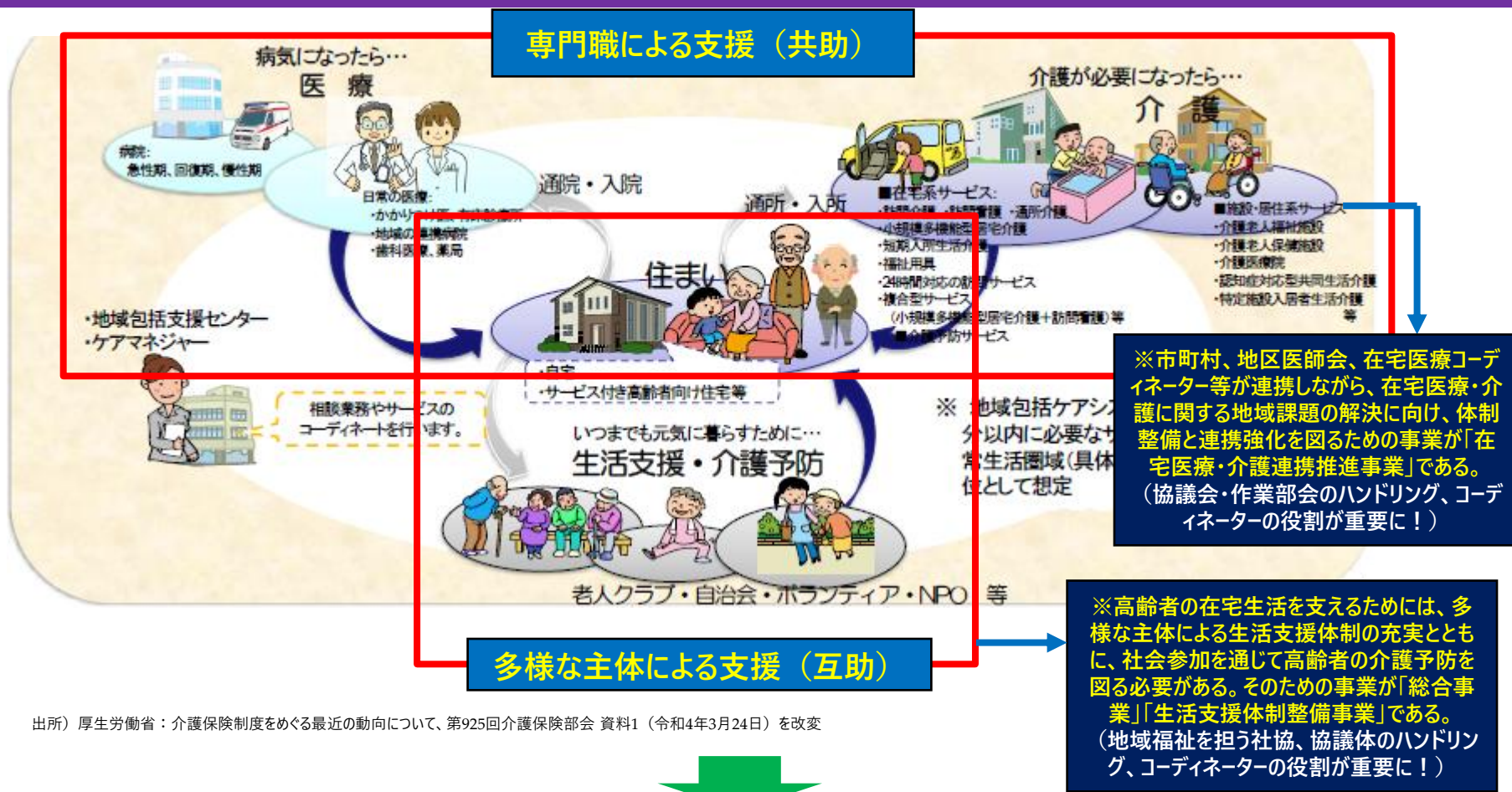


## 包括的な支援を必要とする85歳以上高齢者



出所）厚生労働省：これからの地域づくり戦略を一部改変

# 地域包括ケアシステムの構成要素の強化に向けた主要事業の位置づけと小職の問題意識



出所) 厚生労働省：介護保険制度をめぐる最近の動向について、第925回介護保険部会 資料1 (令和4年3月24日) を改変

## 小職の問題意識

- 「共助」「互助」の機能強化に向けた事業は現在展開されているが、**両者の融合をどう図っていくか**が最終課題となる。
- 共助サービスは見える化も連携強化も図られているが、**互助領域の資源の見える化、ネットワーク化はあまり進んでいない。**

### 3. 地域資源の見える化・ネットワーク化に向けた取組

## < Step 1 >

地域活動／支援ニーズ／地域のキーパーソンを知る



# 大学主催のセミナー等を活用した支援ニーズ／支援者活動の把握


日付	タイトル	講演者	人数
4/9	フードバンク埼玉の活動報告	フードバンク埼玉_永田信雄氏	63
	本業を通じた地域貢献の取り組みについて	(株)イトーヨーカドー 経営企画室_強矢健太郎氏	
4/23	社会資源の有効活用	埼玉県環境部 資源循環推進課_江原宏和氏	63
	大宮アルディージャ版 みんなのシン・みつプロジェクト	大宮アルディージャ事業本部 社会連携担当_安田光志氏	
5/14	子どもたちの笑顔あふれる地域作り：学校応援団と地域の取組み	市立松山第2小学校学校応援コーディネーター_木村貴世氏	48
	セントラルスポーツの介護予防・フレイル予防サポート	セントラルスポーツ(株)健康サポート部_大東俊彦氏	
5/28	社会はひとつずつ変えることができる：フードパントリーを事例として	筑波大附属坂戸高校_菱沼幸歩氏	66
	デニーズで、認知症本人ミーティング	(株)セブン&アイ・フードシステムズ南越谷事務所_柴崎達也氏	
6/11	異業種、多職種の事業者が協働し、地域貢献活動⇔事業活動になる関係性づくり	医療・福祉・環境経営支援機構_櫻井 誠氏	66
	社会資源との協働による地域コミュニティづくり「ウェルカフェ」の展開	ウエルシア薬局(株)_宮崎進一氏	
6/25	訪問と学習支援で子どもたちを支える	彩の国子ども・若者支援ネットワーク_白鳥勲氏	62
	介護予防×ICT	(株)ジーシーシースタッフ_林 千秋氏	
7/9	障がいのある人ない人まぜこぜに：クッキーでつくるおいしい社会	NPO法人クッキープロジェクト_若尾明子氏	58
	民間企業による社会課題解決型事業の事例	(株)NTTデータ経営研究所_大野孝史氏	
7/30	コロナ禍の食育とその意味	NPO法人食育研究会MoguMogu_松成容子氏	47
	健康感から健康観へ～まちの皆さまの健康な毎日に寄り添う薬局を目指す～	薬樹R&D(株)_吉澤隆治氏	
8/27	芝園団地における多文化共生のまちづくり：地域と学生の連携による取組み	芝園かけはしプロジェクト_圓山王国氏	54
	支える人と支えられる人が入れ替わりながら支え合える社会を目指して	生活クラブ生活協同組合 埼玉本部_穴澤 修氏	
9/10	戸田市のワクチン接種とSDG s	戸田副市長_内田貴之氏	51
	ドコモのCSR活動および高齢者サポートの取組みについて	(株)ドコモCS 埼玉支店_石原崇之氏	

# セミナー・シンポジウムの活用により把握された地域課題の一例

## —社会的養護出身者が抱える課題と必要な支援とは何か—

埼玉県立大学研究開発センターHプロジェクトオンラインシンポジウム  
「子どもの最善の利益とは何だろう？」

埼玉県 児童養護施設退所者等アフターケア事業について  
一般社団法人 コンパスナビ



埼玉県立大学研究開発センターの  
ホームページはこちらから

社会的養護出身者 困難の背景にあるもの・・・

2020年厚生労働省調べ

児童養護施設に入所する児童の  
約**66%**が親等からの**虐待経験**あり



児童養護施設に入所する児童の  
約**37%**が**障害**あり

幼少期の虐待が脳に  
影響を与えるという説も

- 1位：知的障害 11.3%
- 2位：広汎性発達障害（自閉症スペクトラム）9.3%
- 3位：注意欠陥多動性障害（ADHD）8.6%
- 4位：反応性愛着障害 5.5%

上記はどちらも  
**年々 増加**しています！



社会的養護出身者の困難・・・

🙄 **18歳**で措置解除。半数以上が、いきなり**一人暮らし**！  
現在では20歳まで措置延長可能ですが、ほとんど利用されません。

強い孤独感  
金銭トラブル  
生活力の欠如



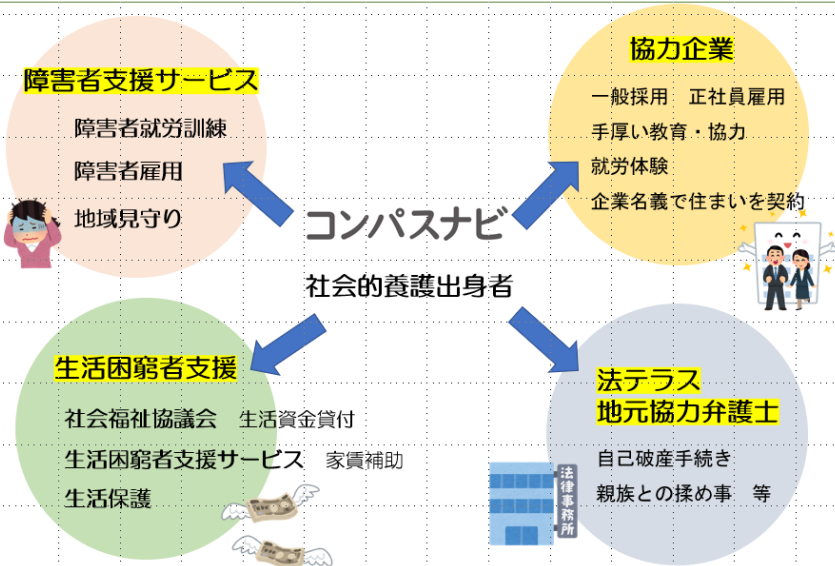
🙄 退所後は、ほとんどがすぐに就職します  
**就職60%**、進学**30%** ※全国高校生は就職**18%**、進学**75%**

JOB

🙄 **2年以内**に**離職70%**、**退学20%**

- 🙄 寮付きの仕事優先で仕事とのアンマッチ
- 🙄 勉強とバイトの両立が困難
- 🙄 人間関係づくりの困難
- 🙄 精神疾患の発症・悪化

様々な行政・民間支援と連携しての取り組み



< Step 2 >  
市町村でのモデル試行

# セミナー等でつながったキーパーソンとの交渉とごちゃませの会の立ち上げ

## 主な経過

1. フードバンク埼玉との連携打合せ(2020/12/14)
  - 北本市社協は、市内の子ども食堂を増やすため、子ども食堂の担い手研修などを実施。子ども食堂支援のため、食材提供も実施していた。
  - フードバンク埼玉のエリア拠点として活動しても良いとの話があり、具体的連携に関して打合せを実施。
2. 大学主催のセミナー・NW会議への参加の打診
  - 社協担当者にセミナー等を案内。2-3回参加される。
  - その後、エリアNW会議の開催を打診し、了解される。
3. エリアNW会議の開催に関する打合せ(2021.2.19)
  - エリアNW会議の実施方法や時期について意見交換を実施。その中で、コアメンバーの選定を打診した。
4. 第1回コアメンバー会議(2021.3.24)
  - コアメンバーの自己紹介
  - 経緯説明 & NW会議の目的を共有
5. 第2回コアメンバー会議(2021.4.14)
  - NW会議の内容／方法／時期に関する打合せ
6. 第3回コアメンバー会議(2021.5.28)
  - 講演者／会議名称／プログラムに関する打合せ
  - 開催日を7/10に確定。7月の「社協だより」に掲載
7. 第4回コアメンバー会議(2021.6.29)
  - 講演者を確定(5名)
  - 参加希望者の現状報告(30名程度が応募)
  - 当日の運営方法の最終確認を実施
8. 第1回「きたもとごちゃませの会」を開催(2021.7.10)
  - 参加者数は約50名

## 第1回 きたもと ごちゃませの会

～地域のつながりづくりに向けて～

令和3年7月10日(土) 10:00~12:00 ZOOM 開催

### 本日のプログラム

時間	内容
9:45~10:00	入室開始
10:00~10:05	オリエンテーション
10:05~10:10	コアメンバー紹介 1) NPO法人ワーカーズコレクティブ てとて 代表理事 邨山真理 2) コープみらい北本介護センター 主任介護支援専門員 吉岡敬太 3) 定期巡回訪問介護看護ゆうゆうケア 管理者 清宮尚也 4) 理学療法士 関良平 5) 社会福祉法人北本市社会福祉協議会 地域福祉グループ 丸山龍朗・大塚竜自(第1層生活支援コーディネーター)
10:10~10:40	活動者の発表① 1) 「笑顔」でいられる人生を「夢」をかなえる手伝いを」 発表者: 合同会社 笑夢(えむ) 代表社員 清宮尚也 2) 「空き家再生プロジェクト×精神障がい」 発表者: NPO法人 北本福祉の会 かがやきの郷 星夏美 3) 「健康的な美味しい食事」 宅配すまいる北本店 店長 江本正彦
10:40~10:45	休憩
10:45~10:55	質問タイム
10:55~11:15	活動者の発表② 4) 「暮らしの編集室について」 発表者: 合同会社 暮らしの編集室 岡野高志 5) 「コープみらいの事業と活動」 発表者: 生活協同組合コープみらい 埼玉県本部 参加とネットワーク推進部 企画・渉外課 渉外課長 岡直政
11:15~11:25	質問タイム
11:25~11:45	参加者自己紹介
11:45~11:55	総括 ゲストコメンテーター 埼玉県立大学教授 川越雅弘
11:55~12:00	事務連絡・閉会



# 取組の成果 (①把握した地域資源の見える化の推進)

## きたもとサロン活動マップ

サロンて？地域でお互いにつながりをつくる集いの場のことです。

### サロンに参加するメリット

#### 近隣とのつながり仲間づくり

・地域に住む人が「顔の見える」関係となるので安心して暮らすことができる

#### 悩みごとの相談

・悩みを共感できる仲間ができる  
・深刻な悩みになる前に、専門家につながる事ができる

#### 孤立、引きこもり防止

・「楽しい」と感じ、また行きたくなるので生活に張りがある。  
・外に出かけることで気分転換になる。

#### 介護予防、認知症予防

・予防の情報が入手できる。  
・特に高齢の方は、多くの方と接することで生活の張りがあるため、介護状態になることの予防にもつながる



### 地域にとってのメリット

#### 住民相互のつながり

・サロンの参加者同士で声をかけあうなど自然と見守りをする人が増える。  
・気にかける近所付き合いが生まれる。

#### 世代を超えたふれあい

・子どもから高齢の方、障がいのある方まで幅広い層の住民が参加することによって、世代を超えたふれあいや学びができる。  
・互いに支えあうことの大切さを次の世代へつなげることができる。

#### 情報の交換・共有

・地域に住む人の課題を発見したり、把握することで「地域住民の悩みなどを防ぐこと」ができる。  
・またそのことについてみんなで考える機会がある。



作成  
北本市 生活支援コーディネーター(SC)

出所) きたもとお宝マップ (地域包括ケアガイドマップ) HPより引用

<https://sites.google.com/view/kitamoto-otakaramap/%E9%80%9A%E3%81%84%E3%81%AE%E5%A0%B4>

# 取組の成果（②社協のマッチング力の向上および課題解決案件の発生）

## 発表者が有する機能の見える化

1. 婚活アドバイザー（Aさん）
  - ・北本で婚活パーティーなどを行い、結婚に結び付けて子どもを増やして、「街を活性化したい！」
2. 福祉用具専門相談員
  - ・福祉用具レンタル
  - ・住宅改修
3. 老舗定食屋の長女
  - ・宴会場あり
  - ・送迎バスあり／マイクロバスの運転も可能
  - ・「市内飲食店の活性化をしたい！」



## 社協とコラボして、高齢者の買い物・食事ツアー開催

1. 協議体での話し合い（2022.7）
  - ・第2層協議体(地域住民の話し合いの場)にて、高齢者の「買い物困難」という課題について話し合い、地域の飲食店「あさひ庵」のバスを活用して、食事後に市内ショッピングモールへ買い物に行くツアーを企画することとなった。
2. 「買いもの・食事バスツアーの開催」（2022.8）
  - ・参加者は、食事や買い物を楽しむだけでなく、参加者同士の会話なども楽しみ、「非日常」での体験を満喫。
  - ・買い物や食事をする事以上に、このような人と触れ合える「場」の開催が好評であった。



< Step 3 >  
他の市町村への展開



# 北本市での展開手法の横展開（さいたま・越谷・川越・鴻巣・志木・熊谷）

## 第1回 さいたま ごちゃまぜの会

地域共生社会の実現をめざして



日時：2023年 8月26日(土) 10:00～12:30

**目的：**さいたま市で様々な活動をされている団体・個人の取組を共有しながら支援を必要とする人が抱えている課題や困りごとをみんなで共有し課題解決策を考え、みんながつながってそれぞれが持っている力を総結集して課題解決につなげていくこと

**内容：**活動紹介 / 支援を必要とする人の困りごとの共有 / 参加者自己紹介

**方法：**オンラインZOOM使用（無料）

**参加者：**さいたま市の地域づくり・まちづくりに興味がある個人や団体

### 講演

	タイトル	所属 役職	講演者
1	遊び場づくり～ごちゃまぜの関係で育まれるもの～	特定非営利活動法人たねの会 代表理事	佐藤 美和氏
2	「生命保険の営業職員」が社会に貢献するために	JAIFA 埼玉県協会 前会長（現相談役）	大塚 治氏
3	共生・多機能型デイサービスについて	株式会社ハート&アート 代表取締役	茂木有希子氏
4	「長生き時代」高齢者のホンネに耳をかたむける	BABA lab（合同会社）パパラゴ 代表	桑原 静氏
5	パフォーマンスアップに栄養をプラス！～スポーツ栄養を活用した支援活動について～	Plus N 代表 管理栄養士	小嶋 理恵子氏
6	コミュニティカフェができること	ヘルシーカフェ 大家	小峰 弘明氏
7	性被害当事者による演劇団体 DAYA の活動について	芸術団体 DAYA	矢嶋 直美氏

申込方法：フォームメーカーにて登録をお願いいたします。  
<https://business.form-mailer.jp/fms/5d228c4c207377>

【お問合せ】 埼玉県立大学研究開発センター  
 河合 kawai-mami@spu.ac.jp

こちらから→



申込〆切：2023年8月24日（木）

【主 催】 埼玉県立大学研究開発センター H プロジェクト さいたまごちゃまぜの会

【参加費】  
無料



**目的：**越谷市で様々な活動をされている団体・個人の取組を共有しながら支援を必要とする人が抱えている課題や困りごとをみんなで共有し課題解決策を考え、みんながつながってそれぞれが持っている力を総結集して課題解決につなげていくこと

日時：2023年2月26日（日）10:00～12:00

内容：活動紹介/支援を必要とする人の困りごとの共有/参加者自己紹介

方法：オンラインZOOM使用（無料）

参加者：越谷の地域づくり・まちづくりに興味がある個人や団体

### 【越谷市内の活動紹介】

みんながつながり、みんなで考え、それぞれの持つ力を総結集することを目指して

	タイトル	所属	講演者
1	育児中のママのために・・・六法良しの神社deままマルシェ	神社でままマルシェ実行委員会	増田貝子氏
2	子育て応援フードパントリーから見えるもの	NPO法人埼玉フードパントリーネットワーク	草場澄江氏
3	町に溶け込む第2の我が家グループホームは町をつくる	特定非営利活動法人 合	田井寿美江氏
4	デニーズで認知症本人ミーティング	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ 南越谷事務所サステナビリティ推進部	柴崎達也氏
5	リサイクル堆肥プロジェクト「再食菜園」への取り組み	生活クラブ生協組合員	佐々木氏

申込方法：フォームメーカーにて登録をお願い致します。

<https://business.form-mailer.jp/fms/2ac2d9bc192318> 申込〆切：令和5年2月24日（金）

お問い合わせ：埼玉県立大学研究開発センター 川越研究室

kawagoe-2a@spu.ac.jp 主催：越谷ごちゃまぜの会





# 「ごちゃませの会」の展開状況

会の名称	市町村名 (人口)	開始日	開催回数	事務局
きたもごちゃませの会	北本市 (約6.5万人)	2021年7月10日	10回 (対面1回)	北本市社協
越谷ごちゃませの会	越谷市 (約34.3万人)	2023年2月26日	6回 (対面1回)	埼玉県立大学 →川越・河合で継続
さいたまごちゃませの会	さいたま市 (約134.5万人)	2023年8月26日	4回 (対面1回)	埼玉県立大学 →川越・河合で継続
めぐり逢エールかわごえ	川越市 (約35.3万人)	2024年1月21日	3回	川越市社協 川越市地域包括ケア推進課
鴻巣ごちゃませの会	鴻巣市 (約11.8万人)	2024年2月11日	2回	こうのす共生病院
所沢ごちゃませの会	所沢市 (約34.4万人)	2024年3月24日	2回	埼玉県立大学→鮎川で継続 (立ち上げを支援)
志木ごちゃませの会	志木市 (約7.6万人)	2024年11月30日	1回	志木市共生社会課 志木市社協
くまがやごちゃませの会	熊谷市 (約19.2万人)	2025年2月1日	0回	熊谷市在宅医療支援センター

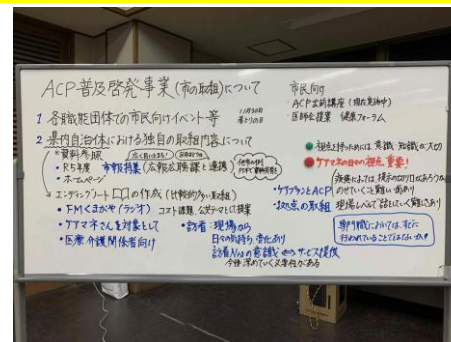
注1. 人口は、総務省「令和6年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」より引用。

## 4. 医療・介護と福祉の連携に向けて

### ー熊谷市でのモデル試行ー

# 地域包括ケアの推進に向けた会議の開催風景（熊谷市）

## ①熊谷市医療介護連携推進及び認知症施策推進会議体制構築部会



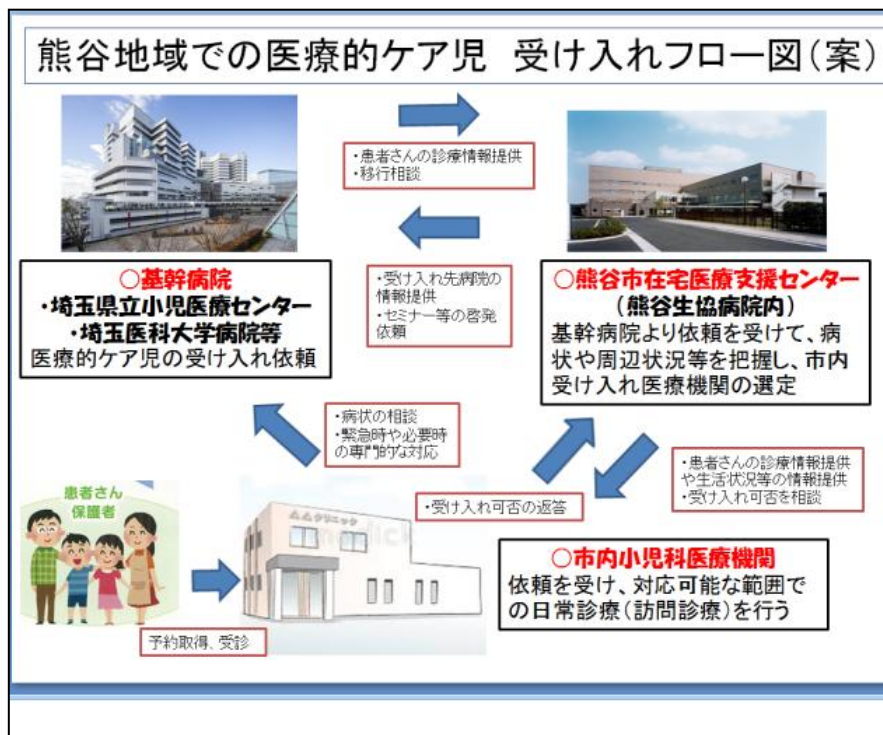
司会は熊谷市医師会地域包括ケア担当理事の大塚貴博先生。書記は熊谷市職員。

## ②熊谷市生活支援体制整備協議会



高齢者の足（移動）の問題。移動スーパーやデマンドタクシー等が議論されている。

# 医療的ケア児・家庭が抱える課題解決を検討している様子



医療的ケア児 受け入れフロー図  
基幹病院と熊谷市医師会で共有



『熊谷市医ケアキッズ支援連携会議』の様子。昨年度からスタート。市内の医ケア児に関わる行政(市役所、保健所、母子、保育所等)、放課後デイ、医療、特別支援学校など



# 地域包括ケアの推進に向けた既存の会議とごちゃませの会の融合を目指して

第1回

## くまがや ごちゃませの会

熊谷でもついに開催!!

### 「ごちゃませ」とは?

地域共生社会（多世代・多様な人々が共生する地域社会）のキーワードです。高齢者、障がい者、子育て世帯、若者など、多様な人々が「ごちゃませ」で地域社会の中で共に暮らし、活動する取り組みを推進するという意味合いで使われています。

### 「ごちゃませの会」の目的

日常の場で自然に人々が交流することで、色々な人や地域の困りごとが解決するきっかけの場を目指しています。定期開催予定です。



### 活動者の発表

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ①熊谷なないろ食堂           | 山口 純子氏 |
| ②NPOにじいろ            | 牛頭 智子氏 |
| ③熊谷市社会福祉協議会         | 大崎 夕貴氏 |
| ④熊谷市在宅医療支援センター<br>他 | 松本 浩一氏 |

次回の発表者  
募集中です!

### ゲストコメンテーター

川越 雅弘氏((株)日本医療総合研究所地域づくり推進部部長)

○日時：2025年**2月1日(土)** 14:00～ (受付 13:45～)

○形式：zoomによるオンライン

○対象：熊谷市のまちづくりに興味のある人、  
いろいろな人・団体と繋がりたい人、**どなたでも!!**

※途中参加・退席、音声のみ参加でも大歓迎です!

○申込：QRコードよりお申し込みください

\*申込締め切り：**1月29日(水)**

\*問い合わせ先：熊谷市在宅医療支援センター（熊谷生協病院内）  
コーディネーター 松本 浩一  
TEL 048-577-7625（相談室直通）  
mail ko-matsumoto@mcp-saitama.or.jp



主催：熊谷市在宅医療支援センター



※発起人メンバー  
キックオフミーティング